平成２９年第２回大仙市教育委員会定例会議事録

平成２９年第２回大仙市教育委員会定例会を平成２９年２月２３日（木）午後２時から大曲図書館において開催した。

出席者

教育長　吉　川　正　一
委　員　風　登　森　一
　　鈴　木　直　樹
　　伊　藤　　良
　　竹　原　まゆみ
　　工　藤　浩　一

説明員

教育指導部長	伊　藤　雅　己
生涯学習部長	山　谷　喜　元
教育総務課長	判　田　　基
教育指導課長	佐　藤　英　樹
教育研究所長	佐　藤　厚　子
生涯学習課長	山　崎　文　幸
文化財保護課長	細　川　良　隆
スポーツ振興課長	伊　藤　優　俊
学校給食総合センター所長	杉　山　光　行
総合図書館長	高　見　正　信
総合市民会館長	今　井　　聰
神岡中央公民館長	黒　川　　博
西仙北中央公民館長	小山田　幸　哉
中仙公民館長	草　薙　栄　良
協和公民館参事	佐々木　春　美
南外公民館長	今　野　徳　吉
仙北公民館長	加　藤　　実
太田公民館長	煤　賀　康　典

書記

教育総務課参事　田　口　広　龍

付議案件

議案第４号　平成２８年度大仙市一般会計補正予算（第９号）案に関する臨時代理について

議案第５号　平成２８年度大仙市奨学資金特別会計補正予算（第１号）案に関する臨時代理について

議案第６号　平成２９年度大仙市一般会計予算案に関する臨時代理について

議案第７号　平成２９年度大仙市学校給食事業特別会計予算案に関する臨時代理について

議案第８号　平成２９年度大仙市奨学資金特別会計予算案に関する臨時代理について

議案第９号　平成２９年度大仙市スキー場事業特別会計予算案に関する臨時代理について

吉川教育長

委員の皆様、お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日は、全員御出席です。書記に田口参事を指名いたします。

ただいまから、平成２９年第２回大仙市教育委員会定例会を開催いたします。

前回定例会の議事録は、ただいま、委員の皆様からの署名をもって、承認していただきました。

早速でございますが、教育長報告に入らせていただきます。資料の１ページを御覧ください。

まず、学校教育関係の特色ある教育活動等についてでありますが、２月は地域の冬の行事が各地で行われました。「刈和野の大綱引き」や「川を渡るぼんでん」、「払田柵の冬まつり」、「太田の火まつり」などで、地域の小学生や中学生が様々な形で参加し、ふるさと博士のポイントを積み重ねております。

研修等については、２月１４日に新年早々オーストラリアへの派遣研修をされた中学生２０名が、仙北ふれあい文化センターで解団式とその報告がなされました。報告には、この研修によって「グローバルな立場で物事を判断できる人になりたい」といった、一回り成長した感想などがあり、海外研修の効果を感じることができました。財政の厳しい折ですが、グローバルな感覚を持った人材育成の面からも、このような「外を見、そして外からふるさとの未来を考えてみる」という体験は、地域活性化に寄与できる子どもの育成という視点からも、今後も続けてまいりたいと考えております。

県外からの視察では、２月３日に埼玉県議会の議員の皆様が大曲小学校を視察され、特に理科の授業で、その質と子供たちの反応の素晴らしさにたいへん驚かれ、ただただ、びっくりしたとの感想を述べられていました。また、２月１０日に和歌山県教育委員会から義務教育課長がお出でになり、来年度も教員研修をお願いしたいとのお話をいただいております。

これらの評価を力に、各学校には、これからの時代を生きる子供たちにつけていくべき力をしっかりと意識させながら教育活動に当たらせたいと思います。

それから、新聞等でも報道されましたが、約５０年前、旧南外村を訪れ、そのおもてなしに大変感動したカリフォルニア在住のアニタ・エグチさんが、この２月１５日に再度南外地域を訪れ、南外小学校の子供たちに秋田の真心の素晴らしさ等について話されました。「物より心」とよく言われますが、まさにそのよい例だと思いました。子供たちにとりましても大きな財産になったと思います。

次に社会教育関係ですが、２月１０日に今年度の大仙市芸術文化賞表彰式が開かれ、栄光賞に音楽部門の藤原正吾様、功労賞には美術部門で高橋隆美様、田口哲男様、奥山朱鳳様、文芸部門で桜田北投石様と出原幸子様が受賞され、団体としまして西仙北短歌会様と大仙市仙北史談会様が受賞されております。

次に社会体育関係では、大仙市体育協会平成２８年度大仙市スポーツ賞授与式が約３５０名の出席を得て２月１８日に行われ、功労賞２名、栄誉賞１名、特別賞にはリオ・オリンピック出場の３名の選手に、栄光賞は４名、奨励賞には個人が１０３名、団体で２２団体が受賞されています。

なお、２月５日に大曲スキーフェスティバルが好天の下、開催されましたが、参加者の減少が気になりました。教育委員会としても、雪国のスポーツとして子供たちの参加をより働きかけてまいりたいと考えております。

次に、安全・安心についてでありますが、学校給食、児童生徒の事故等とも、特に問題となる事案はございませんでした。

なお、「インフルエンザによる臨時休業一覧」を資料ナンバー１により報告させていただきます。大流行はしておりませんが、じわじわと広がってきているようですので、早目早目の対応に心がけたいと思います。

以上で、私からの報告を終わります。

次に、各課・所・館から事務事業・行事報告をしていただきます。まず、教育総務課長、お願いします。

教育総務課長

教育総務課は、５項目掲載しております。２番になりますが、スクールバスプロポーザル選定委員会が２月１４日に開催されました。平成２９年度からの西仙北地域の委託事業者を決定しようというものでありますけれども、今回の募集に対して応募くださった事業者は１事業者でありました。他者との比較というよりも、事業内容を伺ったということであります。決定次第、皆様に御報告いたします。以上です。

吉川教育長

次に、教育指導課長、お願いします。

教育指導課長

教育指導課では、６項目記載しております。行政視察でございますけれども、２月２１日の四ツ屋小、横堀小への創価大学大学院の先生、県義務教育課の先生方の訪問をもって、今年度の視察を終えております。現在、視察関係の一覧を作成中でありますが、これにつきましては、次回に報告させていただきます。それ以外は、記載のとおりです。以上です。

吉川教育長

次に、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長

生涯学習課では、５項目記載しております。このうち、「第１７回子どもと家族の健全育成ペア標語表彰式」について御報告いたします。市内の小･中学生からは、２，１８８の応募がありました。美郷が３５９で合計２，５４７の応募がございました。小学校低学年の部、高学年の部、中学生の部それぞれ優秀賞１組、優良賞３組でした。どの部門においても、大仙市の子供たちが優秀な成績を収めており、快挙でありましたので、御報告させていただきます。また、もう一つ報告になります。かねてから、全国優良公民館表彰に大仙市から仙北公民館を推薦しておりましたところ、このたび、内定の連絡がございました。表彰は３月１日、文部科学省で予定されています。館長が出席する予定です。以上です。

吉川教育長
　文部科学大臣表彰ということで、おめでとうございます。館長には代表して表彰式に臨んでいただきたいと思います。次に、文化財保護課長、お願いします。

文化財保護課長
　文化財保護課は、記載のとおりでございます。

吉川教育長
　次に、スポーツ振興課長、お願いします。

スポーツ振興課長
　スポーツ振興課は、６項目挙げております。「大曲スキーフェスティバル」と「大仙市体育協会スポーツ賞授与式」につきましては、先ほど教育長から報告していただいたとおりでございます。ほか４項目記載のとおりです。以上です。

吉川教育長
　次に、学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長
　学校給食総合センターでは、４項目記載しております。記載のとおりです。また、お手元に配付しております冊子「安全でおいしく」についてですが、これは大仙市学校給食協会がこれまで取り組んだ公益事業の記録集です。後で御覧ください。以上です。

吉川教育長
　次に、総合図書館長、お願いします。

総合図書館長
　総合図書館は、７項目挙げております。このうち、「県南図書館協会職員研修」についてです。昨日、大曲中央公民館で開催されました。中央から２名の講師の方に来ていただきまして、午前中が「地域と関わる図書館」、午後が「見せる図書館」ということで指導をいただきました。特に午後の「見せる図書館」では、各図書館のカウンター、各展示コーナーの写真などで御指導をいただく内容でした。参加者は五十数名でしたが、県南の会員以外の県立図書館、由利本荘市図書館、八郎潟図書館などの職員からも、参加させてほしいということから参加していただきました。大変有意義な研修となりました。以上でございます。

吉川教育長
　次に、総合市民会館長、お願いします。

総合市民会館長
　総合市民会館は、２項目記載のとおりです。

吉川教育長
　次に、花館公民館長、お願いいたします。

生涯学習課長
　花館公民館長は、所用のため欠席ですので、私から代わって報告させていただきます。花館公民館は７項目掲載しておりますが、２月１１日に行われました「川を渡るぼんでん」についてです。ぼんでんの数は例年並みの１５本、参加者は３５０人、見学者は３，５００人だったそうでございます。以上です。

吉川教育長
　次に、神岡中央公民館長、お願いします。

神岡中央公民館長
　神岡中央公民館は、７項目記載のとおりでございます。

吉川教育長
　次に、西仙北中央公民館長、お願いします。

西仙北中央公民館長
　西仙北中央公民館は、８項目です。このうち、２月１０日に行われました「刈和野の大綱引き」につきまして御報告いたします。昨年から、地域と西仙北中学校との連携事業ということで、中学１、２年生９７名の御協力をいただきまして、午後３時頃から「綱のばし」、「小綱つけ」の作業を行っていただきました。綱引きの状況と結果についてですが、開始時刻が午後９時３５分、引き合い時間が１５分、終了が９時５０分でありました。参加者及び観覧者は７，３００人と発表しております。以上です。

吉川教育長
　スタートが例年より結構遅かったみたいですが、無事に終了したということです。次に、中仙公民館長、お願いします。

中仙公民館長
　中仙公民館は、１２項目記載しております。このうち、２月８日に行われました「中仙公民館分館長会議」でございます。中仙地域には六つの分館がございます。今回の分館長会議は今年度５回目の開催でございました。今回は、主に平成２９年度から見直しされる分館長の賃金、勤務時間等の変更など分館の管理体制について話し合いを行っております。今後はこの会議を定期的に開催し、公民館、分館の情報交換の場としたいと考えております。以上です。

吉川教育長
　次に、協和公民館長、お願いします。

協和公民館参事
　協和公民館は、４項目記載のとおりでございます。以上です。

吉川教育長
　次に、南外公民館長、お願いします。

南外公民館長
　南外公民館は、４項目挙げております。このうち、２月４日、５日に行われました「南外小唄まつり」についてです。一般の部が３５名、年少の部が５名に参加していただきまして、大いに盛り上がりました。ただ、年少の部の参加者は、今回のゲストでもありました小野花子さんのお弟子さんでした。地元の小学生の参加が、今後の課題となっております。一般の部の最優秀賞は、仙北市の近藤みつ子さんでした。以上です。

吉川教育長
　次に、仙北公民館長、お願いします。

仙北公民館長
　仙北公民館は、１０項目掲載しております。このうち、「払田柵の冬まつり」ということで、仙北地域のお祭りでありますけれども、これに「ゆきんこまつり」という公民館の事業とタイアップして行っているもので、今年で３回目となります。日中、子供向けの「ゆきんこまつり」を行いましたけれども、親子で１８５名の参加がございました。夜は子供たちにミニかまくらを作っていただきました。１，０００本のろうそくを用意しましたところ、すぐに無くなりまして１，０００個のミニかまくらを作ったということであります。ライトアップもございまして、会場は幻想的な景色となりました。以上です。

吉川教育長
　最後に、太田公民館長、お願いします。

太田公民館長
　太田公民館は、１０項目記載のとおりでございます。以上です。

吉川教育長
　以上、各課・所・館から事務事業・行事報告をしていただきました。ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございましたら、お願いいたします。

伊藤委員

インフルエンザの発生状況について報告がありましたが、実は大分終息してきております。今年、リレンザの影響で飛び降り自殺した中学生がいたと思うんですが、以前にはタミフルで亡くなった方もいらっしゃいまして、毎年問題になっています。大仙市内で、今年に限らずこれまでこうした事故はあったものでしょうか。私は自分の体で薬を試します。リレンザは何ともなかったんですが、タミフルはちょっと不穏になります。これまで何十回も試したんですが、そんな気がします。ですから、自分の経験上、子供さんが飲んだ場合、事故があり得るような気がしているんです。

吉川教育長

私も県教委に十数年おりましたが、気分が悪くなった程度のことまでは分かりませんが、私が在籍していた間には県内で事故の報告はなかったですね。市内においても、接種して気分が悪くなったなどという話は聞いたことはないですね。いずれ、先生のお話では終息に向かっているということですが、特に中学３年は受験を控えておりますので、油断せず気を付けさせたいと思います。

ほかにございませんか。

鈴木委員

教育長報告の中で大曲スキーフェスティバルへの参加者が少なかったというお話がありました。先日、田沢湖スキー場の関係者とお話する機会がありまして、今の利用者の半分はスノーボードの利用者になっているということでした。スキー教室ということを盛んにやっているようですが、もしかすると子供たちの関心はスノボに移っているのかなとも思います。ずっとスキーのままで良いのか、検討する機会があってもいいのではないかと思いました。

吉川教育長

はい、ありがとうございました。いずれ、先ほどの大曲スキーフェスティバルはスキー連盟の主催でございました。スポーツ推進委員の皆様が協力してくださっています。関係者はインフルエンザの影響もあるのかなとお話されていましたけれども、小学校の高学年は３位までトロフィーがもらえるんですが、参加者は１人でした。ちょっと寂しかったかなと思いました。大曲ファミリースキー場ではスノボをやる方はそんなにいらっしゃらないみたいですが、ほかのスキー場では結構いるようです。

スキー授業でスノボをやっている学校はありますか。基本的にはスキーだとは思うんですが。

教育指導課長

スキー授業を行う際には、保護者に子供たち５、６人に１人の割合で指導者をお願いして実施していますが、保護者でスノーボードの指導をできる方はかなり限られているのかなと思います。スキー授業がほとんどでありますので、そういう声がある中、スキーを中心に組まれているのが実態です。

吉川教育長
　県外の高校生の修学旅行を見ていると、各生徒にどっちか選ばせているようです。市内の小・中学校はほとんどスキーですが、この後スノーボードをやる子供が増えれば、そういうことも考えていかなければならないと思います。ほかにございませんか。

工藤委員
　ＰＴＡ連合会研修会が２月３日に開かれまして、ほかのＰＴＡ会長さん方とお話したんですが、スポーツ少年団の競技種目と中学校の部活動の種目がマッチングしないという話題になりました。スポ少でやってきたスポーツの部が中学校にないという例があって、もっとマッチングすればいいのになという話題になりました。いろいろ難しい面もあるかとは思うんですが、そこら辺、どのようにお考えでしょうか。

教育指導部長
　まず、中学校のスポーツ大会を取り仕切る中体連という組織がございますが、中学校にとってはこの中体連が主催するスポーツ大会が一番重要な大会という位置付けになっています。これに出場するためには、各校にきちんと監督やコーチを置いて部活動という形でなければ出場できないというシステムになっております。それぞれの中学校で限られた教職員数や生徒数の中、どの部活を置くかということについては、それまでの伝統とか現状とか考慮して経験のある部活を置いているというのが、実情です。ほかに個人競技的なものについては、大会のときにきちんとした顧問や職員を付ければ出場できるようになっています。スポ少にはいろいろな競技種目が出てきておりまして、中学校としてどう集約するかということに関しては、先生方の数と生徒数が限られた中で選択をしているというのが現状です。

吉川教育長
　中学校の部活動もスポ少のような形になれば結構自由なんでしょうが、中体連が主催する大会には学校代表という形で出場します。どうしてもある程度の生徒数が必要になっていますので、合同チームを作って対応しているところもあります。新しい部を作る場合には、果たしてずっと続くのかといった継続性の問題もありますし、学習指導要領では部活動が教育活動の一つになっていますので、外部指導者をいくら入れたとしても、少なくとも安全面を保証してやる職員を付けなければなりませんので、きちんとした管理体制でなければなりません。そうした中で苦慮しているところです。大曲中学校を除いては、大きな課題であります。

鈴木委員
　それに関連してですが、保護者の思いが余りにも強くて部活が振り回されている感じも一部ではあるのではないかと思います。保護者の思い入れが強すぎたり、思い違いをされていらっしゃる方もいるような気がしますので、教育委員会が保護者と中学校との仲裁役といった役割といいますか、お話する機会があってもいいのかなと思ったりもします。

吉川教育長
　部活動の設立あるいは運営に当たっては、基本線について教育委員会がきちんと示す立場にあります。それを受けてどうするかは校長の判断になりますが、教育委員会としての部活動に対する考え方は何かの機会があれば、お話してまいりたいなと思います。保護者の皆様のお気持ちはよく理解しているつもりですが、学校教育は部活動がメインではないので、全体を見て判断する必要があります。ありがとうございました。
　ほかにございませんか。

各委員（なし）

吉川教育長
　それでは、以上で教育長報告を終わらせていただきます。
　次に、付議案件に入ります。本日の案件は、補正予算案、平成２９年度の当初予算案に関する６件となっております。
　はじめに、議案第４号「平成２８年度大仙市一般会計補正予算（第９号）案に関する臨時代理について」を議題といたします。教育総務課長、報告をお願いいたします。

教育総務課長
　それでは、議案第４号「平成２８年度大仙市一般会計補正予算（第９号）案に関する臨時代理について」、御報告いたします。
　資料は、８ページから１１ページまでとなります。
　本案は、この補正予算案を市長職務代理者が議会に提案するに当たり、教育委員会の意見を求められましたが、教育委員会を招集する時間的余裕がなかったことから、大仙市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第３条第１項の規定により、教育長が臨時代理として同意したため、同条第２項の規定によりこれを報告し、承認を求めるものであります。
　資料の１０ページを御覧ください。はじめに、今回の教育委員会関係の一般会計補正予算（第９号）案の概要について御説明申し上げます。
　１０款教育費ですが、補正前の額が41億6,689万7,000円、補正額9,518万7,000円、補正後の額を42億6,208万4,000円とするものであります。
　補正額の内訳でありますが、２項小学校費6,283万7,000円の増額、３項中学校費3,234万8,000円の増額、５項社会教育費2,000円の増額であります。
　主な事業につきましては、次のページの事業説明書で御説明いたしますが、５項の社会教育費の2,000円につきましては、花の里づくり基金の預金利子の積立金となっております。
　それでは、１１ページを御覧ください。
　事業名が校舎等維持補修及び施設整備費であります。小学校費、中学校費を合わせた形となっております。４のアクト改善の欄を御覧ください。
　２項小学校費の高梨小学校のトイレ改修であります。補正額は、6,283万7,000円であります。国の交付金を活用して事業を実施するため国に要望していたところ、先の国の２８

年度補正予算において、事業採択となったことから補正するものであります。事業費の内訳でありますが、設計などの委託料423万円、工事請負費5,860万7,000円となっております。右側の財源内訳は、国県支出金が学校施設環境改善交付金として1,371万3,000円、市債が4,580万円、残り332万4,000円が一般財源となります。実際の工事は、来年度にこの予算を繰り越して実施する予定です。

次に、３項中学校費の大曲南中学校昇降機改修事業であります。補正額3,234万8,000円であります。障害のある生徒の学習環境の改善を図るためエレベーターを設置するものであります。これも、先ほどの高梨小学校トイレ改修事業と同様で、国の事業採択となったことから補正するものであります。事業費の内訳は、手数料6万3,000円、設計などの委託料253万6,000円、工事請負費2,974万9,000円となっております。財源内訳は、国県支出金が学校施設環境改善交付金として548万6,000円、市債が2,550万円、残り136万2,000円が一般財源となります。この工事も、予算を来年度に繰り越して実施する予定です。

以上、御報告申し上げましたが、よろしく御審議の上、御承認くださいますようお願い申し上げます。

吉川教育長

ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

風登委員

この資料に大仙市の小中学校の洋式化率が４７パーセントとありますが、他の市町村のものと比較すると、大仙市はどの位置にあるものでしょうか。

教育指導部長

全国調査では４４パーセント程度となっております。全国並みではあります。市長からも大事なことだからと御理解をいただいておりまして、どんどん進めるようにということもあって、できるだけこういった補助事業を使ったりして前倒しして進めようとしているところであります。

吉川教育長

平成２７年度時点では秋田県はほぼ全国並みということでした。大仙市はこれよりちょっと低かったんですが、これを実施するともうちょっと上がります。この前の議会でも答弁したとおり、前倒しして少しでも早く洋式化を進めてまいりたいと思っているところであります。

風登委員

もう１点よろしいでしょうか。平成２９年度に高梨小学校のトイレ改修を予定されているようですが、長期間トイレが使えなくなりますので、夏休みとかを利用しての工事ということになるんでしょうか。

教育総務課長

できるだけそうした期間を利用して工事を行います。

風登委員
トイレの洋式化だけでなく、配管の更新とか乾式化にするようですが、１校当たりこうした工事費になるものでしょうか。

教育総務課
トイレの数や状況にもよると思いますが、大体これくらいです。

吉川教育長
洋式化にすると和式に比べ場所を取りますので、和式だと１０万円ぐらいでできるんですが、洋式だと５０万円ぐらいかかります。結構かかります。ですから、一気にはなかなか難しい面もございます。

風登委員
はい、ありがとうございました。

吉川教育長
ほかに、ございませんでしょうか。

伊藤委員
高梨小学校にはトイレが何基ぐらいありますか。

教育総務課長
校舎になりますが、洋便器の数が１１基で、和式の便器が１４基となっております。

鈴木委員
洋式便器が一つも無い学校はありますか。

吉川教育長
それはないです。

伊藤委員
トイレがバラバラな位置にあるから、結構かかるんでしょうね。

吉川教育長
それに加え、配管から何から何までですから、工事費が嵩みます。

鈴木委員
エレベータについては､今度入学される生徒さんがいらっしゃるということでしょうか。

教育総務課長
　在校生であります。

吉川教育長
　ほかにございませんか。

各委員（なし）

吉川教育長
　皆様、よろしいでしょうか。本案を報告どおり承認することに御異議ございませんか。

各委員　（異議なし）

吉川教育長
　それでは、異議なしと認め、本案は報告どおり承認することとします。
　次に、議案第５号「平成２８年度大仙市奨学資金特別会計補正予算（第１号）案に関する臨時代理について」を議題といたします。教育総務課長、報告をお願いいたします。

教育総務課長
　それでは、議案第５号「平成２８年度大仙市奨学資金特別会計補正予算（第１号）案に関する臨時代理について」、御報告いたします。
　資料は、１２ページから１５ページまでとなります。
　臨時代理として事務処理した理由については、前の議案と同様であります。
　資料１４ページを御覧ください。平成２８年度大仙市奨学資金特別会計補正予算（第１号）１款１項奨学資金事業費補正前の額が3,080万9,000円、補正額680万円、補正後の額を3,760万9,000円とするものであります。
　次のページ、１５ページを御覧ください。２の事業の概要の歳入を御覧ください。奨学資金の預金利子と平成２７年度の繰越金について、それぞれの実績額から当初予算として1,000円ずつ計上していたものを差し引いた額680万円を計上し、歳出に積立金として同額の680万円を計上しております。
　以上、御報告申し上げましたが、よろしく御審議の上、御承認くださるようお願いいたします。

吉川教育長
　ただいまの報告について、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

風登委員
　ここ数年の貸与者数の推移が記載されているんですが、奨学金を必要とする方々が多くなってるという話をよく聞きますが、大仙市では減少傾向にあるということでしょうか。

教育総務課長
　大仙市の場合は募集が４月になりますが、ほかの奨学金はかなり早めに募集しているということもあって、こうした状況になっていると思います。早めに、ほかの奨学金制度に申し込み、利用できていることもあって、結果的に本市の奨学金への申込みは減少しているものと考えております。

風登委員
　はい、分かりました。

吉川教育長
　大仙市の奨学金制度のほかにもいろいろな奨学金制度があって、本市の生徒や学生がどれくらい利用できているのかといったことは把握できません。市全体でどのような状況かということに関しては、分かりかねるところです。

風登委員
　大仙市の奨学金制度については市民に周知しているけれども、結果として定員を下回ったということですね。であれば、問題はないと思います。

伊藤委員
　４月になってから募集するということですか。

教育総務課長
　はい、４月が募集期間となっております。

伊藤委員
　それより前から、募集期間が４月からと市民に周知しているわけですよね。

教育総務課長
　はい、市の広報等で周知を図っております。

吉川教育長
　皆様、よろしいでしょうか。本案を報告どおり承認することに御異議ございませんか。

各委員　（異議なし）

吉川教育長
　それでは、異議なしと認め、本案は、報告どおり承認することとします。
　次に、議案第６号「平成２９年度大仙市一般会計予算案に関する臨時代理について」を議題といたします。教育総務課長から順に、報告をお願いいたします。

教育総務課長

それでは、議案第６号「平成２９年度大仙市一般会計予算案に関する臨時代理について」、御報告いたします。

資料は、１６ページから２７ページまでとなります。

臨時代理として事務処理した理由につきましては、前の議案と同様であります。

１８ページを御覧ください。平成２９年度の教育費、教育委員会関係の予算になります。総額は46億6,121万5,000円、前年度比較5億8,321万9,000円の増となっておりますが、増となりました主たる要因といたしましては、企画部が所管する「花火伝統文化継承事業」に関する事業費5億1,990万7,000円が含まれていることによるものであります。この事業を除いて比較した場合、6,331万2,000円の増額で、率にして前年度比１．５パーセント程の増となります。

内訳は、１項教育総務費11億9,604万円、前年度比較で1,068万5,000円の増です。２項小学校費は6億9,874万3,000円、前年度比較で5,168万5,000円の増です。３項中学校費は4億2,425万6,000円、前年度比較で4,605万6,000円の増です。小学校費と中学校費を合わせて9,700万円余りの増額となっておりますが、この主な要因といたしましては、大規模な校舎等の維持補修費の増大と西仙北地域のスクールバス運行業務の委託期間がこの３月で満了になりますが、契約更新に当たり、国で定めるバス運賃の改定に伴う委託料の増大によるものです。５項社会教育費は18億9,045万7,000円、前年度比較で4億4,201万7,000円の増です。この主な要因といたしましては、先ほど申し上げました「花火伝統文化継承事業」によるものです。６項保健体育費は4億5,171万9,000円、前年度比較で3,277万6,000円の増です。この主な要因ですが、「小･中学校ウインタースポーツ推進事業」につきましては、これまで９月補正で予算措置しておりましたが、今年度から当初において予算計上したこと、また、大曲スキー場の駐車場整備に関するスキー場事業特別会計への操出金の増によるものです。４項幼稚園費は市長部局の所管となりますので、除いております。

主な事業につきましては、この後、所管課ごとに事業説明書で御説明いたします。

１９ページを御覧ください。教育総務課所管分になります。事業名は、「校舎等維持補修及び施設整備費」であります。これは小学校費と中学校費と合わせたものになります。平成２９年度予算額が2億2,064万4,000円、前年度との比較では6,275万4,000円の増額となっております。財源内訳は、市債が1億7,070万円、その他といたしまして公共施設等修繕引当基金からの繰入れで869万4,000円、残り一般財源で4,125万円であります。

事業の概要について御説明いたします。４のアクトの欄を御覧願います。大規模な改修工事といたしましては、記載のとおり７件の改修工事を予定しておりまして、大曲小学校高圧受電設備改修工事、内小友小学校高圧受電設備改修工事、中仙小学校プール水源改修工事、豊岡小学校トイレ改修工事、平和中学校体育館屋根外壁改修工事、南外中学校トイレ改修工事、仙北中学校高圧受電設備改修工事を行う予定となっております。これらの事業費の合計額といたしましては、1億7,565万2,000円となっております。このほか、突発的な修繕等に対応するための予算として4,499万2,000円を計上しております。

次に２０ページを御覧願います。事業名は、「大曲中学校水泳プール改築事業」です。大曲中学校の水泳プールは昭和４２年に建設され、今年で５０年目を迎えることから老朽

化が著しくなっております。現行のプールはコンクリート製で５０メートル８コースのプールであります。新たに建設するプールはＦＲＰ製で２５メートル１０コースとするほか、更衣室、シャワー室、管理室及びトイレを整備する予定です。２５メートルプールとすることにつきましては、学校と協議いたしまして授業で使うことを主体として２５メートルプールとするものであります。また、災害時にはプール水を飲料水に活用できる設備も備えた浄水型水泳プールとする予定です。

事業は３箇年事業でありまして、平成２９年度に実施設計、平成３０年度にプールの建設、平成３１年度にプール周辺の整備を行う予定です。総工費は3億2,565万8,000円で、このうち、平成２９年度は地質調査業務委託料及び実施設計業務委託料に関する予算で640万円を計上しております。

これで、教育総務課所管分の説明を終わります。

教育指導課長

教育指導課です。よろしくお願いいたします。資料は、２１、２２ページとなります。教育指導課所管の主な事業のうち、資料に示す二つの事業について御説明いたします。

一つ目は、「大仙グローバルジュニア育成事業費」についてであります。

事業費は4,193万4,000円、前年度比458万6,000円の増、財源は一般財源として4,132万2,000円、その他として61万2,000円であります。

前年度に比べて大幅に増額となった理由は、これまでの「外国語指導助手等招致事業」に、これから御説明いたします教育アドバイザー配置に関わる経費と、ＡＬＴ増員に係る経費等を加え、名称も新たなものにした拡充事業としたためであります。

はじめに、本事業の目的及び目標につきましては、教育大綱の学校教育の充実についての柱の一つである「主体的でグローバルな学びを進める学校づくり」では、確かな学力による探究する子どもの育成を目指し、グローバルな視野で主体的な学びを推進していることから、英語・外国語教育の充実に向けて施策が必要であること、次期学習指導要領の改訂に伴い、平成３２年度から小学校外国語活動の授業時数が大幅に増加することが既に決定しており、特に、現在、小学５・６年で週１時間実施されている外国語活動の授業は、平成３２年度から小学３・４年で週１時間、前倒しして実施されることに加え、５・６年では、英語という教科として週２時間の実施が加わること、児童生徒のコミュニケーション能力の向上のために、英語を活用した体験活動の充実も求められるところであり、新たな体験活動の機会の確保が必要であることなどの理由により、英語に特化した体験活動の充実や教員の指導力向上のためのＡＬＴや英語教育アドバイザーの配置により体制整備を図ろうとするものであります。

本市の英語・外国語教育の現状につきましては、現在、ＡＬＴ７名、ＣＩＲ１名、計８名が配置され、学級担任とＴＴによる指導を通じて、ほぼオールイングリッシュによる指導が実施されております。併せて、英語担当の指導主事を１名配置しており授業改善につながる指導をしたり、協定を締結している国際教養大学との連携を通じて教員の資質向上を図ったりしてきているところであります。

今後の課題につきましては、現在、外国語活動及び英語の授業の半分はＡＬＴやＣＩＲとのＴＴが可能である体制が整備されておりますが、平成３２年度の予測をしてみますと、

現状のＡＬＴ・ＣＩＲ８人体制における持ち時数では、約４０時間分が不足することが予想されます。一方で、ＡＬＴ等の１人分の持ち時数は約２０時間であることから、この不足分を補うためには、今後ＡＬＴを２人増員することが必要となります。また、小学校の学級担任は、ＡＬＴとＴＴで実施する以外の時間は、主に自分で授業を進めなければいけないことから、英語を専門としない学級担任を支援するとともに、教員の資質の向上につながる取組の推進が求められるところであります。

そこで、これらの課題を解決させるために、本事業では、次の３点を柱としております。

具体的には事業説明書の４のアクトの欄を御覧ください。

１点目は、「外国語指導助手等招致事業」であります。今後必要とされるＡＬＴ増員２名のうち、年度途中のＡＬＴの入れ替えや、後で説明する教育アドバイザーの新たな配置も予定していることから、まずは平成２９年度にＡＬＴ１名を増員しようとするものであります。

２点目は、「英語教育アドバイザー配置事業」であります。本事業は、英語の免許を有する退職教員等が各小学校を訪問し、ＡＬＴ・ＣＩＲがいない外国語活動の授業の一部を、学級担任とのＴＴによる授業をすることで、教員の授業力向上及び校内研修の支援をしようとするものであります。加えて、ＡＬＴが増員されることにより、ＡＬＴ・ＣＩＲとの連絡調整や研修に係る用務も増えてくることから、それらも業務内容と想定しております。

３点目は、「グローバルジュニアマイスター育成事業」であります。これにつきましては、児童生徒が海外や県外（観光客）の方々と英語を活用したコミュニケーション、情報交換、観光案内など目的をもった交流活動を実施した場合、その内容に応じてポイントを与え、グローバルジュニアマイスターに認定しようとするもので、現在取組が始まっております「大仙ふるさと博士育成」事業と同様に、ポイント制による評価を取り入れ、意欲付けを図っていきたいと考えております。

続いて２２ページ、「学校生活支援事業費」であります。事業費は9,744万円で、昨年度比7,000円の減、内訳は主に一般財源として7,244万円であります。

学校生活支援員は、生活支援員に加え、看護師・日本語指導支援員・複式学級支援員も含むものであり、学習に向かうことができるようにするための支援はもちろんのこと、安全面への配慮や学校生活を送る上での困難な状況を少しでも軽減させるなど、学習環境の土台を安定させることは、本市の学校教育の充実を図る上で欠かせないものであると捉えており、引き続き本事業の継続・充実をお願いしたいものと考えております。資料の中ほどには平成２２年度以降の支援員の推移を表で示しておりますが、直近では平成２７年度からは５９名の支援員の配置をいただいているところであります。一方で、児童生徒数が減少傾向にある中、障害を抱えたり、発達障害等を含む特別な支援・配慮が必要とされる児童生徒数は年々増えてきている現状でもあります。そこで、来年度につきましては、資料右下の表にあるとおり、学校生活支援員５５名、看護師１名、日本語指導員１名、複式学級支援講師２名、計５９名で、今年度と同数の支援員の配置をお願いしております。

以上、御説明させていただきました。よろしくお願いいたします。

生涯学習課長

引き続き、生涯学習課所管の主な事業予算について御報告いたします。資料２３ページ

とお配りしております資料ナンバー７を御覧いただきたいと思います。

「第二楽章」男鹿和雄展開催事業でありますが、平成２９年度は芸術文化振興費から独立させて１事業としております。事業費1,106万円で、うち入場料収入見込みが162万5,000円、一般財源が943万5,000円であります。

事業の目的ですが、皆様も御存知のように男鹿和雄さんは大仙市太田地域出身で、スタジオジブリ作品の背景美術を数多く手がけて高い評価を受けており、近年は美術監督や挿絵や絵本制作など活動の範囲を広げております。展示会は男鹿和雄さんの作品を大仙市民にも鑑賞していただこうと企画したものであります。また、第二楽章は平和の尊さについてのメッセージ配信も目的としております。既に展示会開催については男鹿和雄さんとスタジオジブリから平成２９年度開催で内諾を得ており、本年度中に展示会周知用ポスターなどの作成を予定しているものであります。皆様に資料ナンバー７としてお配りしたチラシは、現段階での原案です。最終案ではございませんので、外部への公表は控えてくださるようお願いいたします。了解を得た上での印刷となりますので、よろしくお願いいたします。来場者目標は、過去の広島・長崎・福島の開催事例から3,500人としております。大仙市出身の男鹿和雄さんの展示会ということで、周知活動に努めてより多くの市民に鑑賞いただきたいと考えております。

事業の概要ですが、開催日時は平成２９年７月１５日から８月２０日までで、期間中には男鹿和雄さんのサイン会や平和祈願の折り鶴制作ワークショップ、男鹿和雄さんの監督作品「種山ヶ原の夜」上映会を企画しております。また、同時期にはわらび座からの協力をいただき、男鹿和雄さんの作品集『秋田の遊びの風景』に用いられた作品も展示させていただく予定となっております。

以上、生涯学習課所管の当初予算のうち、主要事業の概要について、御報告申し上げました。よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願い申し上げます。

総合図書館長

総合図書館の主要事業について、御説明いたします。資料は、２４ページになります。

事業名は、「子ども読書活動推進事業費」であります。予算額は613万3,000円で、前年度に比べ7万3,000円の増となっております。財源ですが、全て一般財源であります。

事業の目的ですが、平成２７年４月に策定いたしました「第２次親と子の夢を育む読書活動推進計画」に基づき、子供たちが本に親しみ、自らの力で読書する意欲を高めるとともに、生涯にわたって読書を継続する習慣を培えるよう家庭や地域、学校、図書館、それぞれにおいてあらゆる年代に見合った読書活動を推進することとしております。

一つ目は、ブックスタート事業であります。４か月児健診時に赤ちゃんと保護者を対象として絵本を開く体験をしていただくとともに、絵本等を手渡しするもので、絵本を介して心ふれあうひとときをもつきっかけづくりを支援するものです。平成２２年度から継続している事業で、保護者やボランティアからも好評を得ている事業です。２９年度に配付する絵本ですが、「いないいないばあ」、「だるまさんが」の２冊を予定しております。

二つ目は、公立図書館と学校図書館との連携であります。読書支援サポーター３名を配置し、大曲地域は大曲図書館を拠点に、東部地域は仙北図書館を拠点に、西部地域は西仙北図書館を拠点といたしまして小・中学校を巡回し、学校図書館の整備を図りながら、

子どもの読書活動に対する支援体制の強化と連携を図るものです。学校図書館ボランティアへの指導・アドバイスをはじめ、読み聞かせや、調べ学習用図書の団体貸出の支援を行います。

三つ目は、「だいせん読書の日」における読書活動の推進であります。２次計画で新たに１１月第１木曜日を「だいせん読書の日」に制定し、子どもだけでなく、あらゆる年代の読書活動を推進しようとするものであります。各図書館におきましては「だいせん読書の日」及び「読書週間」に合わせ、家庭や地域、社会が読書の喜びを共有できるよう多様なイベントを開催することとしております。大曲図書館では、“気軽にぶらりと来ていただけるライブラリー”を目指して「来ぶらりフェス」を開催しております。その中で読み聞かせや各種講座の実施、軽食コーナーの設置など、いつもとは違った図書館を演出いたしました。２９年度は更にＰＲを強化し、広く市民の読書活動を推進することとしております。

以上、子ども読書活動推進事業について御説明申し上げましたが、よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願い申し上げます。

総合市民会館長

総合市民会館所管の大仙市音楽祭開催経費について、御説明いたします。資料の２５ページとＡ４横カラー刷り資料ナンバー５を御覧ください。

大仙市音楽祭は，大曲新人音楽祭コンクールの後継事業として，新規に行うものであります。０歳からの全ての市民を対象に、「音楽のまち大仙」として長年にわたって育まれてきた伝統と財産をより市民の身近なものにするため、市民参加型の音楽祭に創り上げます。初年度は、仙台クラシックフェスティバル、通称仙クラ運営のノウハウをもっている仙台フィルハーモニー管弦楽団に協力してもらい開催いたしますが、将来的には市民音楽団体が核となってくれることを期待しております。運営に当たっても多くのスタッフが必要となりますが、中高生にボランティアとして協力してもらうことで「まちづくり」の楽しさを体験し、将来の大仙市を担う人材となってくれることを願っています。音楽を通じて市民自らが誇りに思う「まちづくり」と地域活性化を推進し、子供たちには音楽を通して豊かな心や感性を育む機会を提供してまいります。

事業内容としましては、大曲市民会館大ホール、小ホール、大曲交流センターを１１月３日、４日、５日の３日間無料で提供し、市内音楽活動団体、市民、仙台フィルハーモニー管弦楽団が協力して市民参加型の新しい音楽祭を創り上げます。

初日に「０歳からのオーケストラ」と題し、乳幼児から入れるオーケストラ鑑賞会を開催いたします。未就学児のコンサートは初めての試みで歌のお姉さんと歌ったり、持ちよった楽器を演奏したりと子育て中のお母さんたちにも楽しんでもらいたいと考えています。この日の午後には、以前から希望の多い楽器演奏のクリニックを設け、小・中・高の子供たちを指導してもらうことになっています。

二日目、中学生には教育指導課の協力を得て芸術鑑賞事業としてオーケストラを鑑賞してもらいます。次年度は、小学生というように隔年で開催いたします。

最終日には、市民のためにオーケストラ鑑賞会を開催し、音楽祭のフィナーレを飾ります。市内の音楽団体からは、大曲吹奏楽団、大曲中学校吹奏楽部、オペラ「アマールと夜

の訪問者」、蔦バレエ研究所が公演する予定となっております。この他の団体も公募いたしますので、参加団体は増えるものと思われます。

「音楽のまち大仙」として誇れる音楽の祭典にしたいと考えておりますので、何とぞ御理解と御協力をお願いいたします。

以上、御説明申し上げました。よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願い申し上げます。

文化財保護課長

文化財保護課所管分について、御説明させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

平成２９年度予算はこれまで実施してきております事業の総点検を行い、大切な歴史遺産を継承するために必須な取組と、地域活性化に貢献できる事業を柱に計画いたしております。その中から、「川のまち歴史交流の杜整備事業費」について、説明させていただきます。資料は２６ページになります。

本事業は、平成２８年度から着手した継続事業となります。２９年度は7,397万2,000円をお願いするものであり、前年度比2,297万2,000円の増となります。事業の大きな位置付けといたしましては、近代の歴史を支え、舟運で栄えた川港のまち角間川の歴史を継承し、地域活性化の具現を企図する歴史まちづくり事業として中核となるエリアの整備を進めるものとなっております。

１のプランでありますが、本郷家、北島家、荒川家この３軒のエリアを地域活性化の拠点として交流の場を整備するものであり、既存の貴重な建物と川港のまち角間川の歴史を一緒に紹介できる交流施設をキーワードに進める計画となっております。

２のこれまでの実績につきましては、角間川では住民の皆さんが、地域の共有財産である先人たちの歴史を手繰りよせ、旧家の活用の在り方を探る勉強会や、盆踊りを代表とする様々な伝統的な行事、更に新しい取組が行われるなど地域活性化のための機運が盛り上がってきております。こうしたことから、２８年度においては、中核エリアの保存と活用の方向性などを盛り込んだ歴史まちづくり基本計画を策定するとともに、３軒のうち、１軒の土地の取得と内蔵など建物の寄附採納を受け、この３月末までに登記が完了するところまで目途がついております。２９年度は、残る２軒の土地と建物を取得することが事業の大きな部分となりますが、本郷家については国登録有形文化財も含め、全ての建造物と庭園及びその敷地、北島家についても、全ての建造物を市に寄附したいとする意向を示していただくことができましたので、更に残り部分の土地について、一括して公有化することで、今後の整備を具体的に行うための用地と建物のベースが整うこととなります。

３の課題につきましては、１点目は喫緊の課題として経年劣化が懸念されることであり、現場調査を行い、できるだけ早く事業を実施する必要があること、２点目は整備を進めるための技術的な課題です。３軒とも情緒のある歴史的な和風建築ですが、中でも北島家は大仙市唯一の江戸時代の数寄屋造りの建物であり、建物そのものが角間川の歴史を物語っていますので、そうした雰囲気を損なうことなく、工夫した技術での整備が必要となります。

なお、最も重要な整備財源についてですが、土地取得のための国の補助・支援制度はあ

りませんが、取得後の整備に当たっては、国土交通省の空き家対策総合支援事業補助金が活用できる事業となりますので、平成３０年度以降の大きな部分の整備にこの補助金を充当することが可能となります。現在、関係部署及び機関と協議を進めているところであります。

４の今後の方向性と２９年度の事業概要でありますが、事業の実施期間は１０年を予定しており、前期の５年で用地と建物を取得するとともに、建物の保存修理及びトイレなどの便益施設を整備しながら、定期的な一般公開を目指します。後期の５年は、細かな部分の整備や維持管理も含めて公開活用のためのソフト的な体制の整備を行う計画としております。

資料の下段には、２９年度の事業費内訳を記載しております。内容は、先に説明しました土地の公有化のほかに、既存建物の応急的修繕、この秋には是非とも行いたい一般公開に必要な修繕費、また、翌３０年度の交付金申請に必要となる工事費積算にかかる設計費などを見積もらせていただいております。

なお、別添の資料ナンバー６には事業の概要と年度別の工程計画及び現地を見た建築士の皆さんの感想やアンケート結果などを別冊にしておりますので、御参照していただければと思います。

説明は、以上となります。どうか、よろしく御審議の上、御承認くださいますようお願い申し上げます。

スポーツ振興課長

資料２７ページを御覧願います。スポーツ振興課所管分の「全国５００歳野球大会関係費」について御説明申し上げます。

当初予算額６４０万円、前年度予算額より２９０万円の増額となっており、財源は全て地域振興基金繰入金等となります。事業の目的・目標ですが、中高齢者が楽しみながらの健康づくりをモットーに、５００歳野球を全国展開することで、競技スポーツを原点に生涯スポーツとしての野球を継続し、楽しむことで長寿社会の形成と地域コミュニティーの維持、更には社会保障費の抑制につなげることを目的とし、併せて地域知名度の向上と観光宣伝や特産品のＰＲを通じて地域の活性化を図ることを目的としております。

第１回大会は３２チームのトーナメント戦で、県外からは宮崎市、座間市、宮古市の交流都市を含む２０チーム程度の出場を目指し、次回以降は全国各地から県外２７チームの参加を当面の目標としております。

これまでの実績と成果ですが、昨年７月に県外６都県から９チームを含む１３チームの参加でプレ大会を開催しております。歓迎レセプション、物産販売、市内観光ツアー、開会アトラクションのほか、神岡小学校と平和中学校の児童生徒から協力をいただき、参加各チームの歓迎のぼり旗を作成して各チームにプレゼントしたところ、大変喜ばれて全て持ち帰られております。また、参加された全てのチームからアンケートに御協力いただき、その結果をプロジェクト会議などで検証しております。

問題と課題ですが、今回実施したアンケート結果の検証を基に参加選手の要望や意見をなるべく取り入れた形で、今後も積極的な情報提供とＰＲ活動を継続し、年々県外からの参加チームが増え続けるよう充実した大会運営と会場整備など環境の向上を図るととも

に、大仙市の知名度を上げる良い機会と捉え、歓迎レセプションや観光ツアー、特産品の紹介など他の部局や宿泊施設、その他関係機関と連携したおもてなしを充実し、交流人口の拡大を図ることが最も重要であると考えております。

今後の方向性といたしまして、全県大会は今後も全力を挙げて継続しながら、大仙市から全国に情報を発信し、大仙市発祥５００歳野球の需要拡大に努め、「秋田モデル」から「全国モデル」となり、「夏の甲子園」の前哨戦的な権威と魅力ある「野球に燃える　親父たちの甲子園」を目指して「元気な大仙市」、そして「地域の活性化」が図られるようスポーツツーリズムを兼ね合わせた事業の展開に努めてまいります。

２９年度の第１回大会の概要ですが、７月１５日から１７日までの「海の日」を利用した３連休に予定しております。大曲球場を主会場に、全部で６会場使用し、１回戦で負けたチームを対象に２日目には交流戦も行えるように配慮しております。囲みの一番下、予算の主な支出内訳は、今回増額となった２９０万円分の内容としております。

既に２月２０日付けで全国４７都道府県の野球連盟などに参加案内を発送しており、４月２５日までに県外の参加チーム数が確定する予定となっております。

以上、御説明いたしましたが、御審議の上、御承認賜りますようよろしくお願い申し上げます。

吉川教育長

はい、ありがとうございました。平成２９年度当初予算の主な事業でございました。ただいまの報告について、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

工藤委員

大曲中学校水泳プール改築事業についてです。災害時にプール水を飲料水に活用するということですが、私は消防団にも入っているんですが、プールの水というと防火用というイメージがあるんですけど、それとは違ったものになるということでしょうか。

教育指導部長

いわゆる浄化装置、本当にきれいにして飲料水にするということなんですが、ある会社のサンプルのモデルで申しますと、１分間で３０リットル程度を浄化できる能力のある機械があるということであります。もちろん、藻とかいろいろな条件にもよるかとは思いますが、現代はそうした設備があるということであります。ある業者の場合で１月時点で全国で６２の学校のプールで導入されているということであります。ちなみに、防災対策であれば、若干補助率が上がるというものがございますので、それを活用するという意味もございます。

工藤委員

冬は水が凍るというイメージがあるんですが、中の方は大丈夫なんですかね。

吉川教育長

中までは凍らないと思います。詳細につきましては、この後検討していきたいと思いま

す。今のところの構想は、そういったところです。

工藤委員
　はい、分かりました。

吉川教育長
　ほかに、ございませんでしょうか。

鈴木委員
　学校生活支援費についてです。これは、とても大切なことなので、進めていただければと思うんですけれども、要支援児童生徒数が年々増えているようで、とても気になりました。こうした状況について、教えていただけますか。

教育指導課長
　個別の資料が必要だという判断の下、個別の指導計画の作成をお願いしている子供さんだったり、特別な支援を要する子供さんに加えまして、普通学級の担任などがもしかしたらそうした傾向にある子供さんかもしれないということで、教育支援委員会にリストアップした子供さんの数が増えてきております。一方で、特別支援に関する知識がございます検査員の方々にお願いしまして、全ての子供さんに状況を見ていただきながら、支援が必要なのかどうかという判定会議も年に４回から５回ほど重ねております。全ての要望に応えることができればいいんですが、まずは、原則として低学年のうちに学校生活支援を配置するということを重視しながら、少しずつ集団生活に慣れていくことを経験させ、高学年に支援員を配置したくても、財政上難しいところもございますので、全体的にはなかなか配置できない状況にあります。障害の程度の重い子供さんにつきましては、特別支援学級という専門の学級に入っていただくことをお勧めしたりしております。

吉川教育長
　市には特別支援教育の指導主事、教育アドバイザーがおりまして、全部の学校を回ってそうした子供さんの状況を把握しております。この後どうなるのかなという不安なお子さんもいらっしゃいます。場合によっては、年度途中ではありますが、学級担任だけでは対応が難しいといった場合には、補正をお願いして学習に支障を来さないようにしなければならないと思っております。
　ほかに、ございませんでしょうか。

竹原委員
　川のまち歴史交流の杜整備事業についてです。完了までには１０年もかかるということですが、１０年後にはどんな形のものを目指しているのか教えていただきたいと思います。

文化財保護課長
　別冊の資料ナンバー６で御説明いたします。事業期間は、１０年としております。これ

を前期５年、後期５年に分けまして、前期に３家の土地取得、建物改修、案内所等の施設整備を行う予定です。また、後期の５年ではこれらの施設を活用するための中長期的な補完整備やＮＰＯ等管理体制の確立等を図る予定です。

建物の保存につきましては、基本的には建物を調査しながら、できるだけ現在の状況を維持・保存していきたいと考えております。古い部分は全て解体して復元するということも考えましたけれども、建築士会の皆様からいろいろアドバイスをいただきました。その中で、あのような建物はそうほかにはないということ、他の同様の国内の先進事例と比較しても、差別したものにしていかなければならないだろうということで、調査をしながらできるだけ保存していくという方向で進めることといたしました。

資料ナンバー６の５－２の建造物整備計画図を御覧ください。南から荒川家、北島家、本郷家と並んでいます。この３軒のエリアを整備していくことになります。

はじめに、一番南の荒川家のエリアです。この荒川家の南側の市道に面したところにメインの出入口を作ります。そこから入った奥に、エリアの一番南側になりますが、駐車場と多目的交流広場を設けます。北島家の住宅については受付事務所と和室研修室とし、内蔵は多目的交流室として一般公開する予定です。

次に、真ん中の北島家のエリアになります。まず、荒川家からの通路を設けます。北島家の住宅は大きな和室が二部屋ございます。これらの和室は江戸末期に建てられたものでして、現在も生活できる空間です。この和室を活用するためには、いろいろな法律をクリアする必要がありまして、現段階では和室を見る、のぞくといったことになります。北島家には座席蔵もございまして、３家で唯一の座敷蔵になりますが、これもすぐに利用できる状態にあります。この座敷蔵は、浄蓮寺にあります重要文化財の曼荼羅図を収容するために北島家が造ったものだそうです。北島家には神奈川県に在住する有名な画家の方がいらっしゃいまして、この方の作品を展示したりするようなことを考えております。土蔵蔵につきましては、ガイダンスルームにします。角間川の歴史紹介をここで行いたいと考えております。庭につきましては、大変いいコンディションで残っておりますので、整備をすることで十分公開することが可能と考えております。北島家と本郷家の庭は、池田家の庭園を造った長岡安平の手によるものです。

次に、本郷家のエリアになります。ここにも北島家からの通路を設けます。本郷家のエリアの南側中央に、洋風庭園になりますが、ローズガーデンを造りたいと考えております。なぜローズなのかといいますと、先ほど申し上げました北島家の画家の方の主な絵のモチーフがバラだそうです。それにちなんで、バラをみんなで植えたり管理したりと、市民参加型の公園にしたいと考えております。この北側にも庭があったようでして、今は形がないんですが、長岡安平の図面が残っておりますので、築山を設けまして園路は復元したいと思っております。建物についてですが、味噌蔵については多目的交流室にする予定です。内蔵については、歴史資料を展示するスペースとする予定です。住宅につきましては、有料で貸し出す和室とすることを考えております。

角間川は、県内でも指折りの雄物川の舟運で栄えたまちです。浜倉のある川港には石組が割と残っておりまして、これに関しても新年度から調査を進めていきたいと思っております。県内でも土崎などの川港で栄えたところでさえ、こうした遺跡が消え失せている中で、角間川は唯一残っております。また、角間川は士族が住んでいた町でありますので、

城はありませんけれども、きちんとエリアが分かれています。川港と合わせた形でまち歩きのできる歴史のまちづくりを進めてまいりたいという思いでこの事業を進めております。

竹原委員
　はい、ありがとうございます。

吉川教育長
　御三家に関しては、この５年が勝負だなという感じがします。

伊藤委員
　私が幼い頃の話ですが、ここには槍とか刀とかあったんですが、今もあるんでしょうか。

文化財保護課長
　私どもは、確認しておりません。本郷さんは今、蔵の中の什器などの整理を行っておりまして、できるだけ古いものは残していきたいというお話でした。

風登委員
　土地の公有化ということで、事業説明書に本郷家と北島家の土地の面積が示されていますが、資料ナンバー６の工程計画素案に記載されている面積と異なっていますが、何か理由があるんでしょうか。

文化財保護課長
　建物の敷地は上物と一緒に寄附したいという意向ですので、工程計画素案の敷地面積と事業説明書の購入面積とは異なります。

風登委員
　なるほど、分かりました。続いて、「第二楽章」男鹿和雄展についてお伺いします。事業収入として162万5,000円を見込んでいるようですが、大人500円で2,500人、子供300円で1,000人となっています。過去に開催した広島、長崎、福島の例を参考にしたと思うんですが、非常にＰＲを頑張らないと目標達成は難しいような気がします。盛り上げるためにサイン会などいろいろなイベントを計画されていますが、上映会については１回だけなんでしょうか。つまり、私が何を言いたいのかと言うと、イベントを工夫して夏休み中に子供たちを引き寄せるとか、そういうＰＲの工夫とイベントで集客を高めるというようなことを考えないと厳しい結果になるような気がするんですが、いかがでしょうか。

生涯学習課長
　ただいまの御指摘ですが、この映画は宮沢賢治原作のものを男鹿和雄さんが映画化したものです。これに関しましては、映像資料をお貸しするので、何回上映してもいいとジブリの方からはいわれています。ただ、いつ、どのタイミングで上映するのかといったこと

に関しては、この後ジブリと詰めたいと思っております。事業収入に関してですが、過去に開催した都市は、広島市が約１１９万人、長崎市が４２万人、福島県は郡山市で行われたんですが３３万人ということで、大仙市とは人口規模が全く異なります。これらを考慮すると、来場者に関して同様の数字は期待できないだろうと思っております。こうしたことから、入場料を下げております。私どもといたしましては、市民にこうした芸術鑑賞の機会を与えたいということで、来場しやすいような料金設定にしております。ジブリからいろいろな資料をいただきましたが、過去の例からすると、有料入場者数は大体１日当たり６０人ということでした。こうした数字を基に事業収入を見込んでおります。広報活動につきましては、郡山、長崎では開催の直前にチラシ、ポスターができたということで、相当ＰＲに苦慮されたようです。それを参考にいたしまして、この３月中にポスター、チラシを作成し、周知活動を徹底して行う予定です。また、県内の各報道機関から後援をいただいているところもありますので、広報活動に御協力をいただけるものと思っております。こうしたことから、過去の３会場に比べて十分なＰＲ活動はできるものと思っております。

風登委員
　よろしくお願いいたします。私の経験上、秋田県民は料金がかかるというと、ワンコインであっても帰る人が少なくありません。そういう県民気質があるんでしょうけれども、有料となると思った程入ってもらえなかった経験があります。まだ、時間がありますので、今、課長がおっしゃったＰＲ活動などいろいろな手立てをよろしくお願いいたします。

生涯学習課長
　ありがとうございます。

吉川教育長
　ほかにございませんか。

各委員（なし）

吉川教育長
　皆様、よろしいでしょうか。本案を報告どおり承認することに御異議ございませんか。

各委員（異議なし）

吉川教育長
　それでは、異議なしと認め、本案は、報告どおり承認することとします。
　次に、議案第７号「平成２９年度大仙市学校給食事業特別会計予算案に関する臨時代理について」を議題といたします。学校給食総合センター所長、報告をお願いいたします。

学校給食総合センター所長

それでは、議案第７号「平成２９年度大仙市学校給食事業特別会計予算案に関する臨時代理について」、御報告いたします。

資料は、２８ページから３１ページまでとなります。

臨時代理として事務処理した理由については、前の議案と同様です。

３０ページは、前年度予算との比較表です。給食事業費の増加については、学校給食総合センターのボイラー更新工事と学校給食協会の委託料の増加によるものです。公債費の減少は、仙北学校給食センター建設に係る償還が終わったことによるものです。合計で、昨年より1,363万円増加しております。

次のページの事業説明書を御覧願います。

事業名は、学校給食事業特別会計になります。平成２９年度当初予算10億3,907万5,000円、昨年度より1,363万円の増となっております。

財源の内訳は、その他財源として給食費納付金、滞納繰越分、認定こども園等経費負担金等を合わせて3億6,624万6,000円、一般財源は6億7,282万9,000円です。

本事業の目的は、児童生徒に、安全・安心でおいしい給食を提供し、併せて、食育の推進・充実を図ることを目的としております。当然のことですが、目標は、食中毒、食物アレルギー事故を出さないことです。これまでの実績と評価ですが、衛生管理の強化を図るため、学校給食総合センター、中仙学校給食センター、西部学校給食センターが秋田県版ハサップの認証を受けております。また、大仙市食物アレルギーマニュアルを策定しており、多様化するアレルギー児童生徒へ、きめ細かな対応を実施しております。

さらに、認定こども園、幼稚園への給食提供にも対応するなど、幅広いニーズに応えた給食事業を展開しております。

問題と課題ですが、西部センターを除く４センターの建物、厨房、機械設備の経年劣化に伴う維持管理費、衛生管理の強化に伴う人件費が年々増加していることから、維持管理費については、定期的な点検を行い、コストの軽減を図るとともに、調理員に対しては、個々の能力や知識の向上を図りながら職員数の抑制に努めてまいります。

２９年度の概要といたしましては、１日の食数は６，６３７人で昨年より１２２人減少しております。１食当たり給食費ですが、認定子ども園は290円、幼稚園が240円、小学校が270円、中学校が300円となっております。

全体の予算1億9,093万4,000円の内訳ですが、職員人件費として市職員１２名分、公債費として、仙北センターを除く市内４給食センター建設に係る償還金と予備費です。

学校給食総合センターの6億1,245万5,000円の内訳は、給食センター運営委員会委員報酬、給食材料費として大曲、南外地域の小中学校１３校の児童生徒教職員、センター職員計３，１５８人の年間の給食材料費、車両費として給食配送車６台、連絡車１台の燃料、車検等に係る費用、管理及運営費についてはセンターを稼働するための経費と衛生管理の費用でなりますが、大きいところではボイラーの更新工事を行うこととしております。調理運搬業務委託経費として大仙市給食協会の委託料で臨時パートを含めた協会職員９９名分の人件費及び衛生管理費等の経費です。

次に、西部学校給食センター9,026万9,000円の内訳は、給食材料費として神岡、西仙北、協和地域の小中学校６校の児童生徒教職員、センター職員計１，２９５人の年間の給食材料費、車両費として給食配送車３台、連絡車１台の燃料車検等に係る費用及びセンターの

管理及運営にかかる費用です。
　中仙学校給食センター4,527万3,000円の内訳は、給食材料費として中仙地域の小中学校６校の児童生徒教職員、センター職員計７３８人の年間の給食材料費、車両費として給食配送車２台、連絡車１台の燃料車検等に係る費用及びセンターの管理及運営にかかる費用です。
　仙北学校給食センター5,217万4,000円の内訳は、給食材料費として仙北地域の小中学校３校と認定こども園、大曲南幼稚園の園児児童生徒教職員、センター職員計８０７人の年間の給食材料費、車両費として給食配送車２台、連絡車１台の燃料車検等に係る費用及びセンターの管理及運営にかかる費用です。
　太田学校給食センター4,797万円の内訳は、給食材料費として太田地域の小中学校４校と認定こども園の園児児童生徒教職員、センター職員計６３９人の年間の給食材料費、車両費として給食配送車２台、連絡車１台の燃料車検等に係る費用及びセンターの管理及運営にかかる費用です。
　総計が10億3,907万5,000円となっております。
　以上、御報告申し上げましたが、よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願いいたします。

吉川教育長
　ただいまの報告について、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

各委員（なし）

吉川教育長
　皆様、よろしいでしょうか。本案を報告どおり承認することに御異議ございませんか。

各委員　（異議なし）

吉川教育長
　それでは、異議なしと認め、本案は、報告どおり承認することとします。
　次に、議案第８号「平成２９年度大仙市奨学資金特別会計予算案に関する臨時代理について」を議題といたします。教育総務課長、報告をお願いいたします。

教育総務課長
　それでは、議案第８号「平成２９年度大仙市奨学資金特別会計予算案に関する臨時代理について」、御報告いたします。
　資料は、３２ページから３５ページまでとなります。
　臨時代理として事務処理した理由については、前の議案と同様です。
　３４ページの予算書を御覧ください。本年度予算の総額が2,875万5,000円、前年度と比較いたしまして205万4,000円の減で、率にして６．７パーセントの減であります。
　３５ページの事業説明書を御覧願います。４のアクトを御覧ください。奨学資金貸付金

についてですが、2,717万としております。貸付する予定人数は、平成２９年度の新規認定分として昨年度同様、高校生１０人、大学生等２０人の合計３０人、特別奨学金としては高校生５人、大学生等１０人となります。２４年度から２８年度までに認定者は、高校生６人、大学生等２６人の合計３２人となります。貸付金のほか、奨学資金運営委員会委員報酬1万9,000円、事務費等が1万8,000円、基金への積立金154万8,000円を計上しております。

財源の内訳につきましては、奨学資金貸付金の元金収入2,779万3,000円、一般会計繰入金等96万2,000円となっております。この繰入金についてですが、平成２９年度から「ふるさと就職者償還免除制度」の適用を受ける方が出てまいります。平成２９年度は５人の予定ですが、この方々の免除額は96万円になりますが、これにつきましては「ふるさと応援基金」等から補填する予定です。

以上、御報告申し上げましたが、よろしく御審議の上、御承認くださるようお願いいたします。

吉川教育長

貸付金が減額となった理由について、もう少し説明してください。

教育総務課長

はい、これにつきましては、新規認定者数が前年より減少したことと、中退する方がいらっしゃったためです。

吉川教育長

ありがとうございました。ただいまの報告について、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

鈴木委員

この間、税務署長を囲んだ会合がありまして、ある方の意見で社員募集をかけてもなかなか集まらないので、困っているという話が出ました。それから、給料の面でも年配者より若い人たちが優遇されているというデータもあるようです。こうした現在の経済状況を勘案すると、滞納されている方々の中でこうした恩恵に預かっている若い人に対しては、納付を強く求めたりといったことも必要なのかなと思います。意見としか申し上げられませんけれども。

吉川教育長

ありがとうございます。県では平成２９年度から奨学金の返還補助制度をスタートさせるようですし、返還が苦しい方はこうした制度も利用してもらえればと思います。

ほかに、ございませんでしょうか。

各委員（なし）

吉川教育長
　皆様、よろしいでしょうか。本案を報告どおり承認することに御異議ございませんか。

各委員（異議なし）

吉川教育長
　それでは、異議なしと認め、本案は、報告どおり承認することとします。
　最後に、議案第９号「平成２９年度大仙市スキー場事業特別会計予算案に関する臨時代理について」を議題といたします。スポーツ振興課長、報告をお願いいたします。

スポーツ振興課長
　資料は、３６ページから３９ページまでとなります。議案第９号「平成２９年度大仙市スキー場事業特別会計予算案に関する臨時代理について」、御報告いたします。
　臨時代理として事務処理した理由については、前の議案と同様です。
　３８ページは特別会計の概要でございます。事業費が1,739万円の増額となっておりますが、これにつきましては、大曲ファミリースキー場の駐車場舗装工事によるものです。３９ページを御覧ください。これは、市内３スキー場に係る運営費8,698万8,000円の予算をお願いするもので、前年比1,704万5,000円の増となっております。
　事業の目的ですが、地域が持つ豊かな資源と自然環境を最大限に活用しながら、生涯スポーツの場を提供しつつ、地域経済の活性化や冬季スポーツの充実、更に市民の健康増進に資することを目的としております。
　実績と成果ですが、昨年度の利用者数は、暖冬に加え、年末年始の営業が叶わなかったことから、３スキー場合わせて4万8,850人と、一昨年と比較しますと約2万3,000人、３２パーセントの減となっておりました。また、主な修繕工事については、資料記載のとおりであります。
　問題と課題ですが､現在は３スキー場ともに指定管理者が管理運営に当たっております。特に、リフトや各種機器の運転には、常に安全・安心を最優先に、緊急事態が発生した場合の適切な体制づくりを確立し、健全で利用者に喜ばれるスキー場運営を目指してまいります。加えて、児童生徒が冬休み期間に利用できるよう適度な積雪を期待するところであります。
　２９年度の事業概要ですが、指定管理者のノウハウを生かし、様々な企画を提案し、集客に努めてまいります。運営費の内訳といたしまして、大曲ファミリースキー場2,969万3,000円ですが、主に指定管理委託料が920万5,000円のほか、圧雪車の修繕費が115万8,000円、駐車場の舗装工事費が1,883万6,000円、その他賃借料や建物共済掛金などとなっております。
　協和スキー場運営費1,191万1,000円です。これは、主にスキー場の敷地借地料と圧雪車リース料で818万6,000円のほか、圧雪車の修繕費が205万円、電気設備更新工事実施設計業務委託費が117万6,000円、その他建物共済掛金と備品購入費などとなっております。ちなみに、協和スキー場は指定管理料を０円で委託しております。
　次に、大台スキー場運営費1,874万9,000円です。これは、主に指定管理委託料が588万2,000

円、圧雪車等の賃借料が474万2,000円のほか、パラダイスリフトの修繕工事費として712万8,000円、その他燃料費、トイレ改修、建物共済掛金、備品購入費などとなっております。

次に、公債費につきましては、平成２１年度に協和スキー場のリニューアルに要した地方債の元利償還金2,363万5,000円となっており、償還期間は平成３１年度で完済予定となっております。

最後に、予備費が300万円となっております。これは、近年、集中豪雨や落雷などの突発的な自然災害に加え、リフトや圧雪車など機械設備がシーズン中に不具合を生じた際に対応するため、あらかじめ予算措置をするものであります。

以上、御説明いたしましたが、スキー場を利用される方々の安全確保のため、御審議の上、御承認賜りますようよろしくお願い申し上げます。

吉川教育長

ただいまの報告について、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

各委員（なし）

吉川教育長

皆様、よろしいでしょうか。本案を報告どおり承認することに御異議ございませんか。

各委員　（異議なし）

吉川教育長

それでは、異議なしと認め、本案は、報告どおり承認することとします。

以上で、付議案件の審議を終わります。

次に、次第の５番その他に入らせていただきます。

はじめに、前回の定例会において、速報で御報告いたしました「平成２８年度秋田県学習状況調査」と「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」について、詳しい分析結果がまとまりましたので、改めて教育研究所長から報告させていただきます。

教育研究所長、お願いいたします。

教育研究所長

１月の定例委員会で御説明いたしました「秋田県学習状況調査」と「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果につきまして、追加報告いたします。

資料ナンバー２を御覧ください。資料を１枚目をめくっていただきまして、１０ページを御覧ください。

中学校の経年推移の状況について、御説明いたします。

中学１年生は小６の時と比べると数学と社会は上昇しており、国語と理科は下降しております。昨年度は全ての教科で下降しておりましたので、教科によっては中１キャップへの改善が見られますが、更に、小・中が情報を共有し合いながら、課題に対する学習指導

の連携が必要とされるところであります。
　中学２年生は中１の時と比べると数学と理科と社会は上昇しており、国語と英語は下降しております。こちらも教科によっては、中１ギャップの課題を踏まえた授業改善・回復指導の効果が見られます。
　今後とも、学習指導の課題や改善策について、各中学校区での小・中連携による学力向上に向けた実践が更に充実するよう支援してまいります。
　続きまして、今年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」についてであります。
　今年度の結果を資料１１ページと１２ページに、グラフとしてお示しいたしました。また、体格調査の結果につきましては、１３ページと１４ページにございます。
　結果の概要につきましては、１月に御説明したとおりであります。ただ、肥満傾向の出現率において、小学５年生では、「正常」の児童は全国より若干少なく、「肥満傾向」の児童が全国より若干多く見られます。特に、女子が顕著であります。中学生でも同じような傾向になっておりますが、女子の肥満傾向が改善されてきております。
　自ら運動する習慣や機会の確保、体育の授業改善等が更に求められるところでありますので、今後も、各校の運動能力向上に向けた取組について、支援してまいりたいと思います。以上でございます。

吉川教育長
　学習状況調査については、国の４月の状況と県の１２月の状況を見ますと、大仙市の場合は向上しております。県の平均の正答率よりも上がってきております。総体的には頑張っているのではと思っております。
　ただいまの報告について、何か御質問等ございませんでしょうか。

各委員（なし）

吉川教育長
　それでは次に、来月、各学校で卒業式が行われますが、資料ナンバー３のとおり原案を作成しております。教育総務課長から説明をお願いします。

教育総務課長
　平成２８年度の卒業式への出席のお願いでございます。既に、皆様とは日程調整の上、お願いしているところでありますけれども、資料ナンバー３に委員の皆様にはおおむね２日程度、職員の皆様にもそれぞれお願いしておりますので、よろしくお願いします。

吉川教育長
　特に今年は退職される校長先生が多いので、できるだけそうした学校には私が出席するようにしておりますが、なかなか回りきれません。そうした学校につきましては、委員の皆様からしっかり見届けていただければなと思います。変更等がございましたら、教育総務課まで御連絡をお願いいたします。
　ほかに、全体として何かございませんか。

（なし）

吉川教育長
　それでは、教育総務課長から次回の定例会の日程についてお願いします。

教育総務課長
　はじめに、臨時会についてです。既に委員の皆様には通知を差し上げておりますが、２月２７日月曜日午後４時から、下の２階会議室で行います。
　次に、３月の定例会の日程についてです。３月２３日木曜日午後３時３０分から、この視聴覚室で開催したいと考えております。
　夕方には、大曲エンパイヤホテルで恒例の「大仙市教育委員会退職者激励会」を予定しておりますので、御参加をよろしくお願いいたします。

吉川教育長
　臨時会の案件につきましては、県費負担教職員の人事の内申についてでありますが、県教委への内申期限という時間的制約もございまして、２月２７日月曜日午後４時から下の２階会議室でということで決めさせていただきました。また、次回定例会については、３月２３日木曜日の午後３時３０分からこの視聴覚室で行います。そして、定例会終了後、「大仙市教育委員会退職者激励会」を開催するということでございます。ちなみに、退職される教育委員会職員は１３名いらっしゃいます。皆様、御都合はいかがでしょうか。

各委員（異議なし）

吉川教育長
　ありがとうございます。では、臨時会と次回の定例会は、そのようにさせていただきます。
　本日の日程は、全て終了いたしました。長時間にわたり本当にありがとうございました。以上で、定例会を閉じさせていただきます。